

こうして、六十年度は村民のみなさんの要求にできる限り応える一方、財源確保に努めた結果、収支状況では、九千六百六十五万円の黒字となり、健全な財政運営を進めることができました。

努力が実り 健全運営に

歳出を目的別に見ると、消防防災無線通信施設整備事業に取り組んだ総務費が、十二・二%増えました。また、二年続きの豪雪の対応や生活関連道路の整備などを積極的に進めた土木費が二・二%、総合検診事業や人間ドック助成事業など、みなさんの健康増進に対応した衛生費が二〇・九%と大幅な増となりました。

さらに性質別に見ると、普通建設事業費が五億六千万円で全体の二八・〇%を占めています。以下、人件費（五億四千六百三十九万円）、物件費（二億五千六百八十八万円）、補助費（二億九千九百九十九万円）の負担金や各種団体の助成など（二億八百六十五万円）などが主なものです。

建設事業費は五億円に

昭和60年度

村税の内訳（歳入）

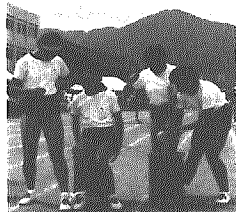
村民1人当たり 6万6,660万円 (61年3月末の人口で計算)

- 村たばこ消費税 4,905万円 (7.3%)
入湯税 2,081万円 (3.1%)
固定資産税 3億3,484万円 (49.6%)
村民税 2億2,405万円 (33.2%)
電気税 3,503万円 (5.2%)
その他 1,082万円 (1.6%)
軽自動車税・ガス税 特別土地保有税など



総務費 3億1,056万円 (45.5%)

公債費 1億8,495万円 (9.2%)
▶ 村の借入金返済



教育費 2億267万円 (10.1%)

- ▶ 学校施設整備 939万円
▶ 奨学金貸付 108万円
▶ 公民館図書購入 123万円



農林水産業費 2億9,606万円 (11.8%)

- ▶ 集落開発センター助成 450万円
▶ 農村総合整備モデル事業 1億1,045万円
▶ 農道整備 1,953万円
▶ 水田利用再編対策実施協力者・団地化計画実施部補助 760万円

衛生費 1億3,057万円 (5.5%)

- ▶ 人間ドック助成事業 210万円
▶ 総合検診事業 440万円
▶ ごみ収集事業 1,940万円
▶ 衛生組合（ごみ焼却場など）負担金 7,122万円
▶ 葬祭施設（妙有院）組合負担金 309万円

特別会計決算

昭和60年度

国民健康保険 歳入 4億4,107万円 歳出 4億2,168万円 差引 1,939万円

老人保健 歳入 3億9,705万円 歳出 3億8,421万円 差引 1,284万円

温泉集中加熱事業 歳入 6,994万円 歳出 5,879万円 差引 1,115万円

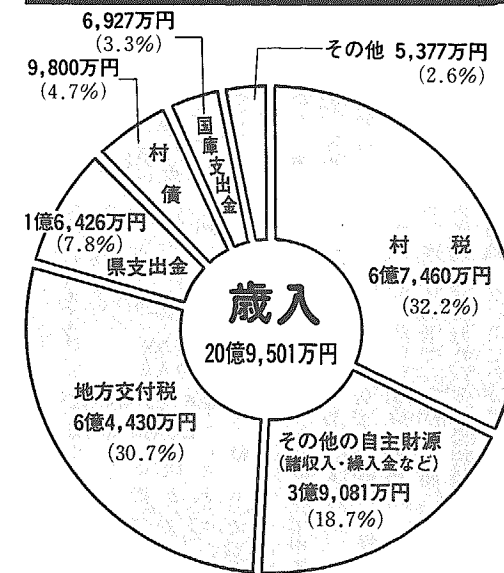
土地取得 歳入 385万円 歳出 0万円 差引 385万円

〔注〕特別会計中、水道事業会計と農業共済会計については、後日お知らせします。

昭和六十年度は、新しい時代に即した、きめ細かい村民サービスをすすめ、バイタリテイのある村づくりをメインテーマに村政運営を行いました。その結果、一般会計は、図のような決算額になりました。歳出決算額では、前年度（五十九年度）に比べて約四千九百万円の増となりました。これは、情報化社会に対応した消防防災無線通信施設を整備したことが主な要因です。

村の仕事はみなさんの生活と密接に結びついていきます。それだけに、一円たりともムダにできません。村では毎年、限られた財源の中で、「夢とやすらぎのある村づくり」「岩室村に住んで本当に良かった」といわれる地域づくりに努力しています。今回お知らせするのは、昭和六十年度（六十年四月～六十年三月）の決算です。これは、一万村民の暮らしに直接かかわった村の家計簿の集計です。なお、この決算は十二月定例村議会で審議され承認されました。

歳入総額 20億9,501万円
歳出総額 20億 336万円
差引（黒字） 9,165万円



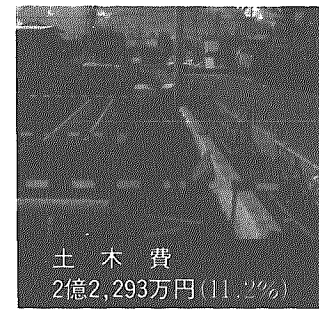
その他 2億6,240万円 (13.1%)

- ▶ 議会費 6,151万円
▶ 消防費 9,054万円
▶ 災害復旧費 1,490万円
▶ 諸支出金 9,545万円

商工費 1億1,874万円 (5.9%)
▶ 丸小山運動広場整備 百六十二万円
▶ 弥彦浦遊歩道あずま屋整備 百一十万円
▶ 観光ボスタやテレビ放送などの誘客宣伝事業 五百三十七万円

歳出 20億336万円

▶ 印の項目はおもな事業費です。



土木費 2億2,293万円 (11.2%)

- ▶ 村道などの道路舗装や改良 1億8,070万円
▶ 除雪対策 1,114万円
▶ 河川の整備 240万円



民生費 2億7,448万円 (13.7%)

- ▶ 老人憩いの家整備 220万円
▶ 老人保健特別会計への繰入金 2,300万円
▶ 保育園施設整備 346万円

60年度はこのように使いました 一万村民の家計簿